

TAKE FREE

# K M T



永遠につながる家族の和。

## STYLE Vol.21

2020 Spring-Summer



このアイコンにスマホをかざすと愉快的取材シーンを視聴できます。

あなたのスマートフォンに  
無料アプリ「COCOAR2」を  
ダウンロード、インストールしてください。



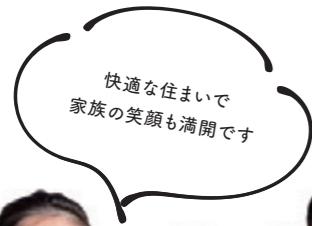
# USER REPORT #01

ユーザーレポート【新築編】  
館林市／小暮邸



## ライフスタイルが変わっても ずっと暮らしやすい住まい 家族の笑顔があふれる 新築6年目の住み心地

気持ちのよい冬晴れの日。「こんにちは!」と出迎えてくれたのは、小暮さんご夫婦と、2歳の健史くん、4ヶ月の花ちゃんのかわいらしい兄妹です。小暮邸が完成したのは今から6年前。当初はご夫婦2人での住まいが、お子さん達が生まれ、ライフスタイルも変化していったようです。笑顔いっぱいのご一家に、現在の住み心地を伺いました。



### 第一印象の安心感が決め手に

小暮邸が完成したのは2014年のこと。結婚をきっかけに、「いずれはマイホームを」と、家づくりを考えるようになったそうです。そんな折に奥様のお祖父様から「実家の敷地内に家を建てては」と提案があり、本格的な新築計画がスタートしました。ご夫妻は当初、他のハウスメーカーの展示場にもいくつか足を運んだのだとか。その中で河本工業に決めた理由を尋ねてみると、「やっぱり地元密着企業ならではの安心感。河本工業さんで家を建てた友人からも話を聞き、信頼できそうだと感じました」と答えてくれました。「河本工業さんに相談したとき、営業の方の人柄にも惹かれました。押しつけが

ましくないというか、商売っ気がないというか(笑)。それがすごく安心できたんです。「建坪に合わせて図面を提案してもらえたのがありがたかったですね」というご主人に、「見学会にも行って、具体的なイメージを膨らませていきました」と奥様。ベースとなる図面をもとに希望を伝え、河本スタッフとの話し合いを重ねていきました。そして完成した住まいは、奥様のご実家のすぐ隣。健史くんと花ちゃんも、おじいちゃんとおばあちゃんのおうちにしょっちゅう遊びに行っているのだとか。ご両親に家事や育児を手伝ってもらえることも多く、とても助かっているそうです。

### 家族一緒に畳でのんびりリラックス

ご夫婦が「できるだけ家族一緒に過ごしたい」と考えていたというリビング。その中で目を惹くのが、どこかホッとできる雰囲気のある畳敷きのスペースです。「ゴロゴロできるスペースが欲しかったんです。足を伸ばしてリラックスしたいと思い、リビングの一部を畳敷きにしてもらいました」とご主人。お子さん達が寝転がっても安心な、くつろぎの空間になっていました。リビングの隣には、引き戸を挟んで和室が続いています。実は当初のプランでは、玄関を挟んでリビングと和室が左右に分かれる間取りを検討していたそう。「でも、河本工業さんと話し合いを進める中で『その間取りだと和室をほとんど使わなくなってしまうケースが多い』と伺って、『リビングと続き間にした方が、和室を有効に利用できますよ』と提案してもらったんです」と奥様。現在はお子さん達が小さいため、この和室が家族4人の寝室に。引き戸を開ければ1つの大きな部屋としても使え、健史くんや花ちゃんがお昼寝のときもリビングからすぐに様子を見ることができます。

一方、奥様のこだわりは2階に設けた室内物干し場です。日当たりがよく、ベランダにもそのまま出ることができる小部屋を、洗濯物干し専用のスペースとしました。「花粉症なので、とくに春先はどうしても室内干しが譲れないんです」と奥様。雨や冬の寒さの中でも大活躍してくれそうです。



2歳の健史くん。うちのお手伝いもしてくれるしっかり者のお兄ちゃんです



家が完成してから生まれた花ちゃん。小林さんの指をギョッ。



### 将来を見据えた暮らしやすさの提案

小暮邸が完成してから6年、その間に2人のお子さんや生まれ、ご家族のライフスタイルも大きく変化しました。現在の住み心地について、ご夫婦は「改めて良かったと思う点も多いんです」といいます。たとえば、フロア全体で統一した明るい色合いのフローリング。奥様が「フローリングの色で悩んでいたとき、河本工業さんから『明るめの色にするとお手入れがラクですよ』とアドバイスをいただきました。木目の雰囲気を活かしながらも、部屋全体がパッと明るい雰囲気になってよかったです」と教えてくれました。また、家の外観についても、長期的な視点か

らのアドバイスがあったのだといいます。「年月が経っても汚れが目立ちにくい方がいいな、と考えていたところ、このベージュ系の外壁をご提案いただきました。玄関周りのブラウンの色味ともバランスがとれていいですよ」とご主人。外壁や屋根などのイメージも、河本スタッフと相談しながら決めていったのだそうです。現場監督の小林さんも、「家は何十年も住むものですから、将来もずっと気に入っていただけるような提案を心がけました」と語ります。

## こだわりが たくさん詰まった 大満足の住まい

リビングを見渡せるオール電化のキッチン  
は、使い心地もパツパツな様子。お手入れも  
簡単で、キッチンの掃除は休日にご主人が  
担当しているのだとか。最近では健史くん  
も、お料理のお手伝いをしてくれるそう  
です。さらに、キッチンもリビングも収納は  
たっぷり。中でもお気に入りなのが、階段  
下の収納スペースだといいます。小林さん  
の提案で、通常は廊下側に付けることが  
多い収納の扉を、あえて反対側の脱衣所  
に設置。「タオルやバジャマをしまうこ  
とができることでとても便利です」と、奥  
様が笑顔で語ってくれました。  
また、玄関脇には土間を設け、ベビーカー  
やレジャー用品などを収納。ご主人のご  
友人が描いたという絵が飾られている玄  
関のピクチャーレールや、かわいらしい  
小物が置かれたニッチ(壁の一部をく  
ぼませて作った棚)なども、インテリア  
のアクセントになっていました。



キッチンカウンターを挟んで、お料理中も家族の会話が弾みます

「河本工業さんには何でも相談できて、本当  
に安心感がありました」と、明るい笑顔を見  
せてくれたご夫妻。6年目の住み心地は大  
満足のようです。「家が完成してからも「何  
かあれば河本工業さんに相談できる」と思  
える信頼感があります。「建てて終わり」で  
はない

温かさが、本当に嬉しいですね。  
これから健史くんと花ちゃんが成長するに  
つれ、素敵な家族の思い出がどんどん増  
えていくはず。それと同時に、河本工業と  
の絆も続いていくのでしょうね。



取材中、健史くんはお昼寝中でした



「リビングに家族みんなが集まれる家にしたかったんです」

スマホをかざしてね!



教えて!  
河本さん

ANSWER  
FROM KOMOTO STAFF

### 長く気に入る住まいをつくるには?

住宅事業部 工事長 小林浩之

家にも時期によって、流行のスタイルやデザインがあります。でも、見た目の好みだけで決めてしまうと後々デメリットが生じてしまうことも。とくに最近では材料の性能も向上しており、汚れのつきにくい外壁やお手入れが簡単な床材なども多くあります。オーソドックスなタイプでも色や素材で変化を出せることができるので、まずはご希望をお聞かせください。



# USER REPORT #02

ユーザーレポート【リフォーム編】  
館林市／脇田邸

## 素敵な縁がつないだ 快適リフォーム

たくさんの「好き」に囲まれた暮らし

娘さんが結婚して独立し、現在はご夫婦2人  
で暮らしている脇田さん。1階をフルリフォーム  
し、和室がほとんどだった間取りが、すべてフ  
ローリングの洋室に生まれ変わりました。実は  
このリフォームの背景には、河本工業との素敵  
な縁があったそう。昨年9月に完成したという  
リフォームについて、お話を伺ってきました。



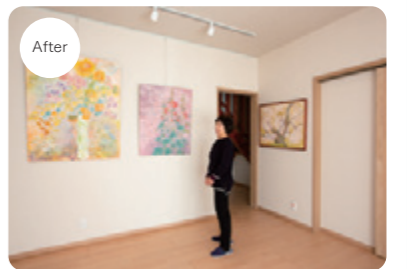
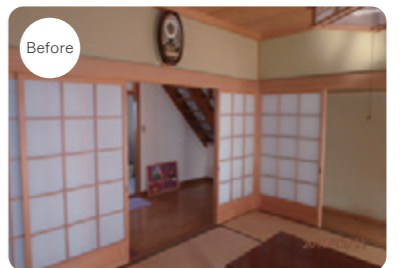
奥様が描いた日本画が飾られた多目的室は、まるで美術館のよう

### 和室がまるで美術館のような洗練空間に

建ててから30年弱という脇田邸。今回は、住  
宅の1階部分すべてという大規模なリフォーム  
を行いました。玄関を入るとまず目に飛び込ん  
でくるのが、家のあちこちに飾られた素敵な  
絵画です。「私は絵が好きで、この家も、絵を  
飾るためにリフォームしたようなものです(笑)」  
という奥様。飾られている複製画は、海外の美  
術館などで実際にご夫婦が鑑賞したものばかり

だとか。絵を眺めるたびに、楽しい思い出がよ  
みがえってきそうです。  
さらに、玄関からすぐの一部屋には、奥様が描  
いた絵が飾られています。まるで美術館のよ  
うな洗練された雰囲気ですが、以前はここが二  
間続きの和室だったというから驚きです。「和  
室はあまり使っていらないとのことだったので、  
襖を壁にして部屋を区切り、絵を飾ることが  
できる多目的室をつくりました。各部屋には  
ピクチャーレールを取り付けているので、額  
の掛け替えも簡単にできます」と、河本リ  
フォームセンターの大塚所長。さらに、柔ら  
かい光で絵を照らすスポットライトも設置し  
、作品をより魅力的に演出しています。  
それぞれの絵の額は、なんとご主人の手作り。  
木の枠や亚克力板を活用し、作品のサイズ  
に合わせて制作したそうです。奥様の絵に  
ご主人の額縁。想いのこもった夫婦の共同  
作品ですね。

ココがPOINT /



畳と障子の和室が、  
フローリングの多目的室に生まれ変わりました

HAPPY  
FAMILY!

リビングの棚には娘さん家族やお孫さんの幸せいっぱいの写真が



足下ポカポカ!  
広々キッチンで満足です!

収納もたっぷりの使いやすいキッチン、床暖房で足元もポカポカです



寝室の壁一面には「エコカラット」を採用。トーンの変化でおしゃれな仕上がり

陽当たり抜群!  
洗濯物もすぐに乾くんです!



天井に昇降式物干しを取りつけた室内物干し場。部屋との仕切りには、軽くて断熱性に優れた中空ポリカーボネート板を使用



河本スタッフとの信頼関係もバッチリです



2階へと続く階段は昔のまま、リフォーム後の雰囲気ともマッチしています



玄関のパンチングメタルは、防犯を兼ねたスタイリッシュなデザイン

### 適材適所の提案で、 機能・安全・快適さを両立

かつて和室だったもう一方の部屋は、多目的室と同様フローリングの寝室にチェンジ。大塚所長の提案で、寝室の壁の一面には、室内を快適な湿度に保つ「エコカラット」を大胆に採用しました。調湿・脱臭機能に加え、柄や色のトーンで変化をつけ、おしゃれなイメージに仕上がっています。

また、多目的室と寝室の横の縁側だったスペースは、日当たりの良さを活かした室内物干し場に。各部屋との仕切りには、ガラスではなくポリカーボネート板が使われています。「中空タイプで中に空気を含んでいるので、断熱性も高い。陽の光を室内に入れながらも、洗濯物を目隠しすることができます」と大塚所長。奥様も「私たちは全く知らなかった素材なので、提案していただけて良かったです。孫がよく遊びに来て走り回るの

で、ぶつかっても危なくない素材はありがたいですね」と語ります。

室内物干し場は中に扉を設け、スペースを2つに区切れるようになっています。「工事の途中で希望して、扉をつけてもらいました。乾燥機を使うときは扉を閉めて狭い空間にすれば、洗濯物がすぐに乾きます。寝室までスムーズに行き来ができるのもいいですね」と奥様。プランの変更も気軽に相談できる河本スタッフとの信頼関係が、満足のリフォームを実現したのですね。



### 生活動線にも 配慮した完全バリアフリー空間

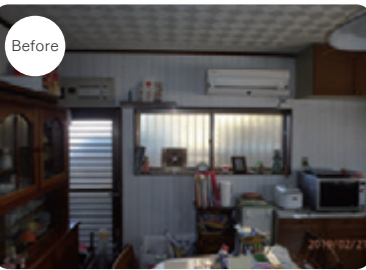
リフォームをする上での大きな希望が、バリアフリー化だったという脇田さんご夫妻。ご主人は「将来の生活を考えたら、絶対に床はフラットな方がいいですね。一見平らなようにも畳とフローリングでは歩いたときの体の沈み方が違い、その数ミリの違和感でつまづいてしまうんです。せっかくリフォームをするなら、すべてバリアフリーにしたいと思いました」といいます。リフォーム後はほぼすべてのドアが引き戸になり、さらにレールを上吊り式に。部屋の仕切りがない完全バリアフリーとなりました。「おかげでロボット掃除機が大活躍ですよ」と、奥様も大満足の様子です。

また、バリアフリー化と同時に室内の動線にも配慮。キッチンやリビングから奥の寝室までは一直線に行くことができ、各部屋への移動もスムーズです。かつてはダイニングに背を向

ける形だったキッチンも、対面型に向きを変えました。「すごく使いやすいキッチンで、家事をするのも楽になりました」と奥様。お料理中もダイニングやリビングを見渡すことができ、夫婦の会話も弾みそうです。

以前の住まいから大きく生まれ変わった脇田邸ですが、大塚所長は「水回りの位置は変わっていないんです」といいます。「水回りの位置を変えると屋外の排水設備の工事が必要になり、期間も費用もかかってしまいます。場所は同じでもキッチンの向きを変えれば、動きやすさはだいぶ違いますよ」。その言葉に続き、ご主人も「ずっと暮らしてきた家ですから、キッチンやリビングの場所も体が覚えています。昔の面影が少し残っていると安心しますね」と語ってくれました。

#### ココがPOINT /



キッチンの勝手口があった場所は、食器棚とカウンターテーブルに

#### ココがPOINT /



明るい色味のフローリングと白壁で、スッキリと明るい空間に

# 家族の絆がつないだ河本工業との縁

お話を伺いながら室内をいろいろ見せていただいていると、どこか見覚えのあるインテリアが、明るい色合いのフローリングや、白壁にしつらえたニッチ棚など、どこかで見たことがあるような……？すると奥様から「河本工業さんにリフォームをお願いしたのは、娘家族の家づくりがきっかけだったんですよ。娘の家のフローリングや棚が素敵だったので、同じイメージにしました」とのお話が。そう、実はこちらの脇田邸は、新築ユーザーレポートで紹介した小暮さんの奥様のご実家なのです。6年前に敷地内で行われた娘さん家族の新築工事の際は、脇田さんご夫妻も進捗を間近で見守っていたそう。

完成した家の快適そうな様子を見て、河本工業でのリフォームを決めたのだといいます。では、よく遊びに来るお孫さんというのは、健康くと花ちゃんのことですね！

「リフォーム工事が決まってからは、スマートフォンのLINEを使ってお二人とやりとりしていました」という大塚所長。なかなか会って打ち合わせができないときも、こまめに連絡を取って合っていたそうです。「何でも話やすく、細かいこともいろいろ相談できました。

工事途中での『やっぱりこうしたい』という希望にも柔軟に対応してくれて、本当にありがたかったです」という奥様の言葉に、ご主人も「こちらの希望をただ受け入れるだけでなく、専門家の視点からさまざまなアドバイスをしてくれました。信頼してお任せできる安心感がありましたね。おかげで、想像以上に素晴らしいリフォームになりました」と続けます。

最近は絵画に加え、パッチワーク制作にも取り組んでいるという奥様。住まいを彩る素敵な作品が、これからもどんどん増えていきそうです。娘さん家族も交えながら、幸せな笑顔が広がっていくのでしょうね。



笑顔で語るご夫婦の様子から、仲の良さがうかがえます

## ココがPOINT /



玄関のドアはスマートに開閉ができるキーレスタイプに。お孫さんを抱っこしているときなども、カギを探す必要がなくてとても便利

スマホをかざしてね！ /



教えて!  
河本さん  
ANSWER  
FROM KOMOTO STAFF

## 大規模リフォーム工事のポイントは？

河本リフォームセンター 所長 大塚洋一

時々「ショールームのようにしたい」との声をいただくことがあります。ショールームは確かにキレイで素敵ですが、例えるならファッションショーのようなもの。そのままでは普段使いにマッチしないことも多いのです。リフォームの際には見た目や憧れよりも、「どんな暮らしがしたいか」「リフォームで何を改善したいか」をハッキリさせることが大切です。希望や予算、工事期間などによって、目的を叶えるさまざまなご提案が可能なので、まずはお話を聞かせください。



超断熱 体験型モデルハウス

『komachi』

和と親しむ。最高水準の快適性。

見学をご希望の方はこちらからご予約ください。※予約制

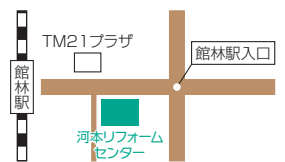
電話予約受付時間  
〔平日9:00～17:00〕

0276-72-3325

## 河本リフォームセンター

お気軽にお立ち寄り  
くださいませ。

受付時間  
9:00～17:00



## 河本工業株式会社

〒374-0057 館林市北成島町2544

新築のご用命はこちら

TEL.0276-72-3325

FAX.0276-72-3327

komoto-style.jp

河本工業 住宅

検索

リフォームのご用命はこちら

0120-75-9188

本情報誌への掲載や出演のお問い合わせは info@coiki.net まで

### POSTSCRIPT

Blank space for postscript content.

KOMOTO STYLE 編集委員会